

遺伝子組換え植物のキャンパス内
漏出事故への対応について

令和元年8月7日(水)

奈良先端科学技術大学院大学

生駒市高山地区環境保全委員会 前回委員会(平成30年8月31日)以降の取組について

本年も昨年に引き続き、以下の取り組みを行った。

- ・「遺伝子組換え植物実験に係る調査」について
平成30年9月、平成31年3月に全ての実験場所について、法令・規程・マニュアルを遵守の上、実験を実施していることを確認した。

- ・安全教育を実施
平成31年4月16日(火)
対象：遺伝子実験を行う 学生・教職員(新規・継続含 対象230名)
※この安全教育を受講しないと遺伝子実験従事許可を与えない。

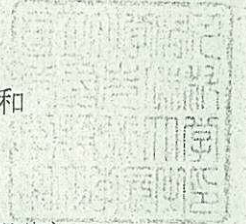
- ・定期モニタリング
学内 平成30年11月、平成31年4月
学外 平成31年3月27日～4月8日
全ての場所において、新たな遺伝子組換えシロイヌナズナ植物の漏出がないことを確認した。
- ・上記結果を令和元年5月13日、生駒市、文部科学省に報告

以上、昨年より引き続き問題がないことを報告するとともに、今後とも安全安心に取り組んでまいります。

奈院大安衛第4号
令和元年5月13日

生駒市長 殿

国立大学法人
奈良先端科学技術大学院大学長
横 矢 直 和



2019年度大学周辺のシロイヌナズナモニタリング調査について(報告)

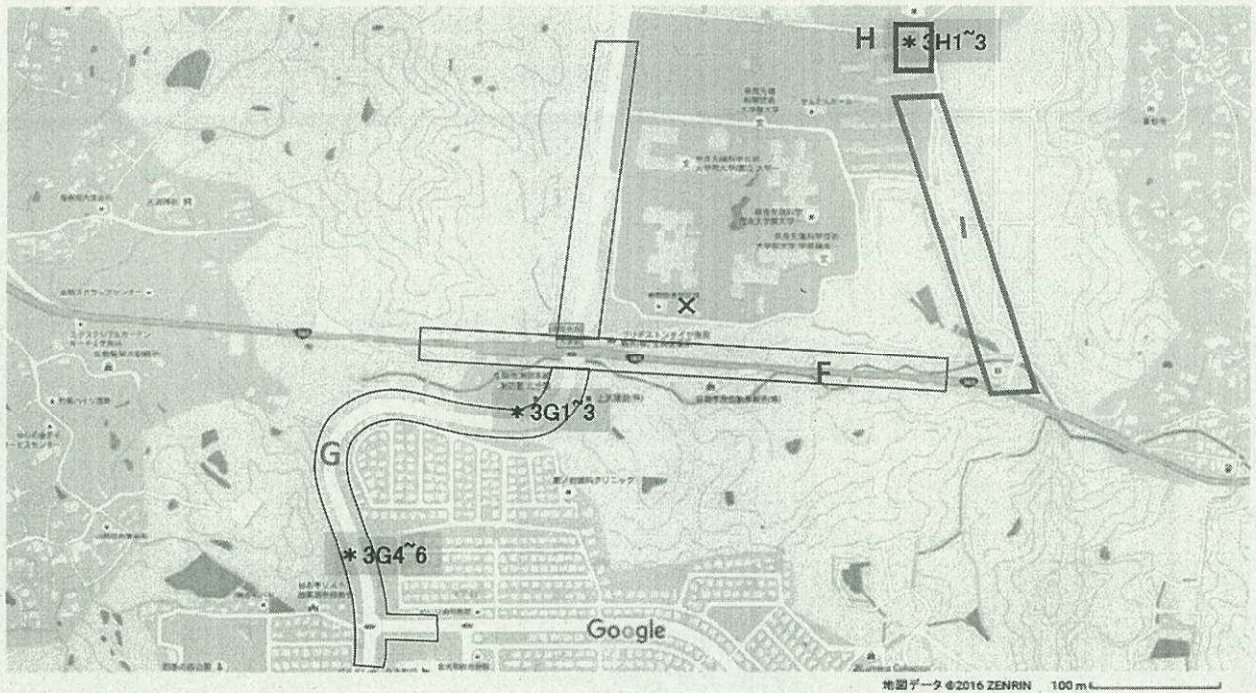
標記のことについて別添のとおり報告いたしますので、ご査収くださるよう、
よろしく申し上げます。

定期モニタリング報告書

報告日: 平成 31 年 4 月 8 日

作業名	大学周辺のシロイヌナズナモニタリング調査
作業日時	植物体採取 3月27日 ゲノムDNA調製 4月4日 PCR解析 4月5日
作業従事者	加藤晃(准教授)、山崎将太郎(博士研究員)、川邊陽文(博士研究員)、金城聖子(実験補助員)、鈴木淳展(技術職員)、(5名)
作業内容	平成28年にシロイヌナズナ植物体の生育が認められた学外地点、学内グリーンラボおよびその周辺を巡視し、生育していたシロイヌナズナを採取した。採取したシロイヌナズナからゲノムDNAを調製し、遺伝子特異的プライマーを用いたPCRを行い、その遺伝型を特定した。
新たな漏出の有無	学外では自生種のみ、学内グリーンラボではCol野生株のみが生育していることを確認し、新たな遺伝子組換えシロイヌナズナ植物の漏出はないことを確認した。
備考	本シロイヌナズナモニタリング調査は毎年4月に実施する予定であるが、今年は気象条件を考慮し、3月末に巡視および生育していたシロイヌナズナの採取を行った。Fエリアについては新たな店舗の開店に伴う周辺整備のため、シロイヌナズナ個体の生育は確認できなかった。Iエリアについても時間をかけて探索したが、シロイヌナズナ個体の生育を確認できなかった。
代表者署名	西條 雄介

サンプリング(写真撮影)地点



3G-1



3G-2



3G-3



3G-4



3G-5



3G-6



3H-1



3H-2



3H-3



